

# JOYO BANK NEWS LETTER

2022年8月29日

## 「高齢者のデジタルデバイド解消」に向けた取り組みについて

常陽銀行（頭取 秋野 哲也）は、このたび、高齢者のデジタルデバイド<sup>\*1</sup>の解消に向けた取り組みを開始しますので、下記のとおりお知らせいたします。

高齢化社会の進行や情報通信技術の普及、コロナ禍による生活様式のデジタル化等を背景に、高齢者におけるデジタルデバイドが進行し、さまざまな場面で不利益を被ることが問題となっています。

当行は、これまでも高齢化社会に対応するため、「ジェロントロジー<sup>\*2</sup>」の知見を活用した取り組みを積極的に進めてきましたが、本件はその一環として実施するものです。

当行およびめぶきフィナンシャルグループは、「地域とともにあゆむ価値創造グループ」を長期ビジョンとして掲げ、持続可能な地域社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする地域の全てのステークホルダーの皆さまの課題に寄り添い、ともにあゆみ解決することで、新たな価値を創り続けてまいります。

\*1 インターネット等の情報通信技術を利用できる人と利用できない人の間に生じる情報格差。

\*2 長寿に伴う認知機能の変化が経済行動、特に金融資産の管理等に与える影響を研究する学問。なお、当行のジェロントロジーを活用した取り組みの全体像は、別紙をご参照ください。

### 記

#### 1. 取扱開始日

2022年9月1日（木）

#### 2. 取組概要

##### (1) 「スマホ活用ミニ講座」の開催

地域のお客さまのスマホ活用を支援するため、「スマホ活用ミニ講座」として動画コンテンツの視聴サービスを開始します。お客さまには、営業店の窓口等においてこの動画コンテンツをご視聴いただき、適宜行員がサポートいたします。

動画コンテンツ	<b>&lt;基礎編&gt; スマホの基本的な操作方法（約10分）</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・スマートフォンの種類や基本的な操作について</li><li>・スマートフォンを安全に使うための注意点について</li><li>・便利なLINEの使い方について</li></ul> <b>&lt;応用編&gt; スマホの便利な使い方（約15分）</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・常陽銀行のバンキングアプリについて</li><li>・健康管理に使おう！茨城県健康アプリについて</li><li>・いざというときに役立つ！茨城県の防災サービスについて</li></ul>
実施店	高萩支店、多賀支店、下妻支店、下市支店、ひたちなか支店、大宮支店、友部支店、千波支店、戸頭支店、赤塚支店（計10支店）

(2) デジタルライフの充実に向けた総合サポート

株式会社ソフマップ（以下、「当社」という）と連携し、デジタル機器へのサポートが必要なお客さまに対して、当社が提供するサービスをご紹介します取り組みを開始します。

具体的には、スマートフォン、タブレット、パソコンといったデジタル機器の各種設定や操作方法の説明、トラブル診断等のサービスをご案内する予定です。

<株式会社ソフマップ 企業概要>

所在地	東京都千代田区外神田1丁目16番9号
代表者	代表取締役社長 中阿地 信介
事業内容	パソコン、ソフト、デジタル家電等の販売（新品・中古）、買取、サポート
会社設立日	2012年3月1日
主要株主	株式会社ビックカメラ（100%）
ホームページ	<a href="https://www.sofmap.co.jp/">https://www.sofmap.co.jp/</a>

以上

スマホをもっと便利に使いませんか？

無料

# シニア向け スマホ活用ミニ講座

常陽銀行では地域のお客さまのスマホ活用を応援するために、「スマホ活用ミニ講座」の動画視聴サービスをご案内しています。ご希望のお客さまはお気軽にお問い合わせください！

《講座動画の内容》

## 基礎編

### スマホの基本的な操作方法（約10分）

- ・スマートフォンの種類や基本的な操作について
- ・スマートフォンを安全に使うための注意点について
- ・便利なLINEの使い方について

## 応用編

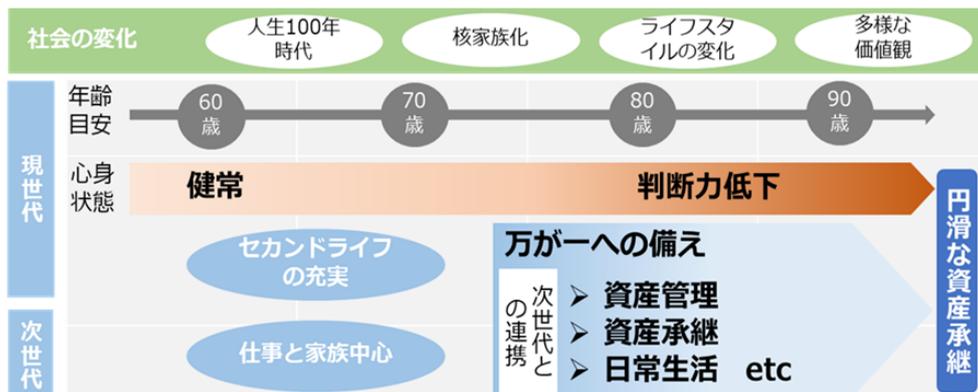
### スマホの便利な使い方（約15分）

- ・健康管理に使おう！茨城県の健康アプリについて
- ・いざというときに役に立つ！茨城県の防災サービスについて
- ・常陽銀行のバンキングアプリについて



## 高齢社会に向けた取組みの全体像 (ジェロントロジーの活用)

地域の皆さまが安心して暮らし続けられる地域社会の実現に向けて、長寿化に伴う高齢期間の長期化に備えるための金融商品・サービスの提供や、外部機関と連携したさまざまなサービスに取り組めます。



### 高齢社会に対応した取組み

#### 資産管理

- ご家族等代理人によるお取引のサポート  
・代理人カード、家族連絡先登録制度
- 身元保証・任意後見サービスの提供
- 信託を活用したサービスの提供  
・後見制度支援信託、家族信託
- 不動産の活用  
・リバースモーゲージ型住宅ローン・リースバックの取り扱い

#### 資産承継

- 信託を活用したサービスの提供  
・遺言信託、遺言代用信託
- 財産承継プランニングサービス
- 遺言作成サポートサービス

#### 非金融サービス

- 各種専門事業者との連携による生活支援メニューの拡充  
(ご紹介可能サービス例)
  - ・見守りサービス
  - ・家事代行サービス
  - ・生活トラブル駆付けサービス
  - ・リフォーム業者のご紹介
  - ・介護施設のご紹介
  - ・家系図作成サービス
  - ・終活相談サービス
  - ・認知症サポートサービス
  - ・**デジタル機器サポートサービス**
- 多様なお客様ニーズに対応したサービスの拡充
  - ・情報承継サービス (あんしんノート)
- スマホ活用ミニ講座の実施**

#### 体制整備

##### <行内体制整備>

- 高齢者専門担当者 (スマイルパートナー) の配置
- 顧客提案ツール「スマイル・ナビゲーション」の活用
- 研修・教育体制の拡充 (認知症サポーター等)
- 二セ電話詐欺被害防止への対応

##### <外部機関との連携>

- 各市町村・地域包括支援センターとの連携
- 高齢者等見守りの実施 (茨城県内全市町村と協定)
- 地域住民への啓発活動、ホームページに特設ページ設置
- 日常生活自立支援事業の紹介